

研究 Report



No. 3 令和3年9月 池袋本町小学校

9月6日(月)に4年2組で3回目の研究授業を行いました。今回の授業では、友達と仲良く過ごしていくにはどうしたらよいかを考え、互いに理解し合い、信頼し、助け合っていくとする実践意欲と態度を育てることを目標として設定しました。4年生になり、今まで以上に交流範囲を広げ、自分にとってより気の合う友達と集まったり、一緒に行動したりすることが多くなってきています。普段は仲の良い友達でも、ちょっとした心のすれ違いがあると、喧嘩に発展してしまうこともあります。その中で、相手を理解し、認め、受け入れていくことの大切さや、時として、それらの思いを実行していくことが難しさなど、心の葛藤について深く考えることができました。

今回の授業をきっかけに、相手を思い、相手のためになる行動をとり、よりよい友達関係を築いていくことができるように今後も見守りながら励ましていきます。



- 1 講師 東京都小学校道徳教育研究会 元会長 長谷 徹先生
- 2 主題名 「友達と仲良く」(B-9 [友情, 信頼])
- 3 教材名 「仲直り」
- 4 授業内容

【本時の目標】

友達と仲良く過ごしていくにはどうしたらよいかを考えさせ、互いに理解し合い、信頼し、助け合っていくとする実践意欲と態度を育てる。

【主な学習活動】

導入

登場人物の関係を図にして表し、児童に分かりやすく提示をし、児童が登場人物の気持ちを考える際の手掛かりとなるようにしました。



展開前段

学習問題に対しての自分の考えをしっかりともち、ペアトークで互いに意見を交流しました。意見が一緒でも、理由が異なることもあるため、より考えを広げることができました。

展開後段

クラス全体で意見交流を行いました。自分とは違う考えに触れ、その考えに対する自分の考え(賛成・反対)をクラスで交流(話し合い)することで、学習問題に対して、より深く考えられるようにしました。友達のことをよく理解することの大切さや、それ故にそれぞれの気持ちを尊重することの難しさについて考えることができました。



終末

「友達と仲よくすごすために大切だと思った自分の考え」に対して、
・自分の意見も、友達の意見も、どちらも大切にする。
・普段から関わりやすい(意見を言いやすい)雰囲気作りを心掛ける。
・自分の思っていることも伝えるけど、突き通さない。
・どの子にも平等に接していく。
などの考えが出ました。

